

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-5 居住環境づくり
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	経営課長 黒目浩喜・施設課長 領家信介	電話番号	0852-22-6645、6642
----------	---------------------	------	-------------------

事務事業の名称	県営水道用水供給事業	
目的	(1) 対象	受水市及びその住民
	(2) 意図	ライフラインである水道の安定供給により、安全で安心できる快適な居住環境を実現する
事業概要	受水団体（松江市、安来市、出雲市、雲南市、大田市、江津市）に良質で安全な水道水を安定供給するため、水源を確保し、施設を適切に管理運営する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	契約水量	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		67,633	67,641	66,719	67,526	
式・定義	関係市への日平均供給水量の計		実績値	66,981	66,715	66,445	66,923		
			達成率		98.60	98.20	100.40		%
指標名	契約水量		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,793,477	4,202,695
うち一般財源(千円)	27,994	21,212

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度の給水実績は平成25年度と比較して100.7%と微増であった。今後、受水団体の簡易水道からの水源切り替えにより、一時的な給水量増加が見込まれる。しかし、長期的には人口減少による給水減が予想される

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成26年度においては、事故や故障による給水制限を行うことなく、安定的に供給した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
水道用水の安定供給には老朽化した施設の更新や耐震対策が必要  
人口減少による給水量の減少
- ②困っている状況が発生している「原因」  
施設の老朽化  
人口の減少
- ③原因を解消するための「課題」  
施設の老朽化対策  
人口減少に対応した更新時の施設規模の検討

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

施設の老朽化対策については、アセットマネジメントの導入により効率的な更新計画を策定し、安定的な給水を継続していく。将来的な人口減の対応については、ダウンサイジングを含めた適正な施設規模を検討して設備更新を行っていく。これらの実施にあたっては受水団体への説明を十分行い、理解を得ながら進めていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）